だから、おしゃべりはやめられない 89

# 怒涛の上半期を振り返って

勅使河原 茜

今年も早いもので、半分ちょっとが過ぎました。こういうときの決まり文句のようになっている「早いもので」という言葉ですが、これほどに実感を込めて言ったことはあまりないかもしれません。というのも、今年の上半期は、それこそ駆け足のように様々なイベントがあったからです。

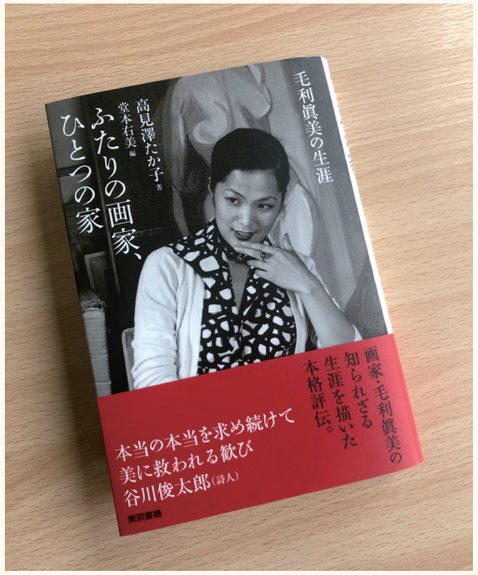
特に5月ごろから6月にかけては怒涛の日々でした。「第四回下掛宝生流能の会」の『半蔀(はじとみ)』での立花供養に始まり、「〈特別企画展〉藍＋茜　Indigo and Akane」、「G7広島サミット・社交行事で和のおもてなし」、「横浜山手西洋館　花と器のハーモニー2023 いけばな7流派の家元が彩る洋空間」、草月いけばな展「花のソナタ」、「いけばなインターナショナル東京支部6月昼食会」……と、こうやって振り返るだけでもクラクラしてしまうほどです。

たまたまなのかもしれませんが、この上半期は外部の方とご一緒する大規模なイベントが多かったように思います。こういったものは刺激があって楽しい反面、いつも以上に緊張するため、最中は身も心も常にギリギリ状態。それでも乗り越えられたのは、全てのイベントにおいて草月の素晴らしさを再確認することができたからです。家元という立場ではありますが、私も草月に育てられた人間のひとり。草月の花をいけ、それを多くの方にご覧いただき、幸せなひとときを分け合えたこと。それが何よりも嬉しかったからこそ、ハードスケジュールに負けないパワーが出せたのだと思います。

ひと息つく間もなく、10月には京都の東寺、奈良の東大寺での献花が立て続けに予定されています。東寺では、歴代家元の蒼風、霞、宏の全員が献花を行ったことがあり、以前からご縁があるのですが、私は今回が初めてです。さらに私は今年から東寺の総代にも就任しています。身に余るお話にはじめは戸惑いましたが、京都には草月ＷＥＳＴもありますし、少しでもお役に立てるならと、思いきって総代をお引き受けすることにしました。秋からもまた怒涛の日々が待ち受けていそうです。

その一方、疲れを溜めないためにも、ゆっくりできるときは、なるべくリラックスした時間を過ごすようにしています。おかげさまで市ヶ谷の自宅の建て替えに伴う引っ越しも終わり、仮住まいでの生活にも慣れてきました。そんな時間の中で読んだ本から一冊ご紹介させてください。『ふたりの画家、ひとつの家　毛利眞美の生涯』という今年5月に刊行された書籍です。

この本の編者である画家の堂本右美さんは、毛利（堂本）眞美さんの娘であり、私の古くからの親友でもあります。父母、娘の全員が画家という堂本家と、いけばな一家である勅使河原家は、どこか合わせ鏡のようでもあり、家族ぐるみの付き合いがありました。小さいころから知っているだけに、「あの引っ込み思案だったゴンゴン（私の幼少期のあだ名）が家元に⁉」と当時は驚かれましたが、その後も事あるごとに心配しては、励ましてくれています。




私の親友・堂本右美さんの母である毛利眞美さんの生涯を綴った本。オススメです！
『ふたりの画家、ひとつの家　毛利眞美の生涯』
著者：高見澤たか子　編者：堂本右美
東京書籍

この本の主人公である眞美さんのことも、もちろんよく存じ上げています。独立心が強くチャーミングで、天才肌の夫を最期まで支え続けた、芯の強さと包容力をあわせ持った方でした。まだ女性の芸術家が「女流」と呼ばれていた時代。同じ画家でありながら夫が美術界のスターになっていくのを横目に、女性であるがゆえに直面しなければならなかった挫折や葛藤は、どれほどのものだったことでしょうか。美術界といけばな界では事情はまるで違うとは思いますが、同じ女性であり、表現者であり、自分の志した世界でより高みを目指す者として、シンパシーを感じずにはいられませんでした。読書の秋はもう少し先ですが、皆さんも機会があればぜひお手に取ってみてください。

# 勅使河原茜の 線色塊

作品をいける際、たくさんの花材を集めたり、花器の口元を引き締めるために茂りをつくったりすることも、広義では「塊」と言えるかもしれません。ただ、テーマとして〝マッス〟をいける場合は、より心して臨まなければなりません。はじめに重要になってくるのが花材選び。たとえば、線的だったり大きな面をもつ花材でマッスを構成するのは難しいため、まずそこでつまずかないよう注意しましょう。また、マッスに隙間は厳禁です。息苦しさを感じさせてはいけませんが、力感やエネルギーをギュッと内包したような力強い集合体になるようにいけることが大切です。

そのためには、ある程度の花材の分量が必要になってきますし、いけるのにも時間がかかりますし、いけるのにも時間がかかりま す。ふだんのお稽古でマッスを取り入れるのは、なかなか難しいかもしれませんが、初代家元・蒼風は『花伝書』の中で、「枝の線だけでこしらえたいけばなはたくさんある。しかし、かたまりだけの花は草月流の中から生まれて、まだ歴史は若い。線にもかたまりにも、どちらにもそれぞれ美しい世界が無限にある」と説いています。一種類だけで構成する、複数の色や素材を組み合わせてみる、線と対比させてマッスを強調するなど、「線」「色」と同様、非常に追究しがいのあるテーマです。どうぞ自分ならではのマッスの表現を見つけてみてください。

2023年度のサブテーマ「線色塊」。草月いけばなの根幹にあるこのテーマを、茜家元の作品とともに紐解いていきます。今号では「塊」をご紹介します。

大好きな色の花材ばかりを選んで、ミックスさせました。
それぞれの花の形態はまったく違いますが、
あえてマッスにすることで、互いが主張しつつも、魅力を引き出し合っています。
花器は白っぽいものを選ぶことで、個々の色の美しさを強調し、
花材が浮かび上がって見えるような効果も出ました。

花材：むしとりなでしこ、エピデンドラム、カーネーション、アルストロメリア、ういきょう、アスター
花器：志野扁壺
28×21×24cm

まず、なしの枝ぶりをいかして骨格を作り、
そこに白とグリーンの花材を存分に足していきました。
このように、もともとの素材の形をいかすのも、マッスを無理なく作る方法のひとつです。
周りに置かれている石とのバランスを考え、
ユーモラスで不思議な形にしたことで、作品に躍動感が生まれました。

花材：なし、利休梅、こでまり、かすみそう
花器：信楽花入（鈴木五郎）
49×70×45cm

日本間に展示された家元による大作。松、グロリオーサ、流木、ブラックリーフ、はらんがいけられている。

草月いけばな展

# 花のソナタ

## 自作花器にいける

初夏の草月いけばな展「花のソナタ」が、6月7日から24日まで草月会館の日本間と談話室にて開催された。今回は草月の大きな特徴でもある「自作花器にいける」がテーマ。陶器をはじめ、鉄、ガラス、アクリルなど、さまざまな素材の世界にひとつだけの自作花器と、植物と空間が響き合い、唯一無二の音楽がかなでられた。

家元は、八方に勢いよく広がる流木をメインにした大作と、自作の陶器花器にいけた作品3点、そしてペインティング1点を披露。期間中に2回いけかえられた家元作品は、同じ花器で別の表情を見せ、複数回訪れた来場者はその変化を楽しんだ。

Photo ／ Tsunaki Mizunoya（P8~9）

草月いけばな展

# 花のソナタ

## 自作花器にいける











I 2 3 家元による自作花器は、全て福井県の草月陶房にて制作された。同じ花器を使用し、花を変えて 2 回いけかえられた。
4 日本間には家元によるペインティングも展示された。



















5 6 10 11 草月会館 2 階・談話室に展示された出品作。様々な素材の自作花器が展示された。
7 陶器に樹脂を塗布した花器（鈴木陽洵さん）。
8 和紙を使用した花器に、同系色のあじさいをいけた作品（藤倉清佳さん）。
9 趣のある陶器花器（林萩赤さん）。
12 鉄の丸棒を使用したスタイリッシュな花器（五十野雅峰さん）。

# 横浜山手西洋館 第21回特別展
# 花と器のハーモニー 2023

## 七流派の家元が彩る洋空間

6月3日から11日まで、横浜山手西洋館にて「花と器のハーモニー2023」が開催された。今回は特別展として「いけばな七流派の家元が彩る洋空間」をテーマに、洋館七館をいけばなと世界各国の食器でもてなす試み。池坊、龍生派、草月流、未生流、古流松應会、小原流、一葉式いけ花（記載順）といった現代のいけばな界を代表する家元の作品と、一流メーカーの品々との競演は注目を集め、大盛況となった。

草月流はベーリック・ホールを舞台に、家元による初夏の花と伝統あるドイツ・マイセンの器が出会い、心躍るハーモニーを届けた。

また6月3日にはホテルニューグランドにて、いけばなの日記念「いけばなLIVE」が行われた。池坊、小原流、草月流の家元・次期家元が国際園芸博覧会「GREEN × EXPO 2027」に向けてのパフォーマンスを二部構成で繰り広げた。そして翌6月4日には、ベーリック・ホールのリビングルームにて草月会神奈川県支部ほかの皆さんによるデモンストレーションが行われ、イベントをさらに盛り上げた。





右はホテルニューグランドにて行われた、池坊、小原流、草月流による「いけばなLIVE」。
左はベーリック・ホールでの草月会神奈川県支部ほかの皆さんによるデモンストレーションの様子。











ベーリック・ホールにいけられた家元作品。1 居間の作品。竹、やまぼうし、どうだんつつじ、なつはぜ、黄梅、ブルーベリー、ゆきやなぎ、むきふじ、もみじ、ほざきななかまど、きんまさきを使用。2 庭には割竹の帯の作品。3 食堂にはマイセンの食器とともにテーブル花がいけられた。4 子ども部屋の浴室には、自作陶器花器「KOKORO」を使用した遊び心のある作品を展開した。

# 東京西支部展

## Wow!! SOGETSU!（家元出品）

5月12日～14日
国営昭和記念公園
花みどり文化センター


1


2


3


4


5



6



7

1 家元作品。2 久保田芳生支部長の作品。
3 高木水染さんらによる合作。
4 大久保雅永さんの作品。
5 江口玉枝さんらによる合作。
6「水を魅せる」のエリア。
7「異質素材をいける」のエリア。

### 多彩な構成で魅せる

国営昭和記念公園花みどり文化センターにて、家元出品のもと東京西支部展が開催された。

従来は作品のサイズごとに花席を分けていたが、今回はテーマごとに花席を設ける会場構成とした。テーマは「私の花」「異質素材をいける」「壁面を彩る」「花器が主役」「吊って観る」「水を魅せる」の6つ。各々がテーマに沿って創造力を遺憾なく発揮し、来場者の目を楽しませた。

家元は、竹、たいさん木、やまぼうし、もみじ、カルミアを使い、天井の高い開放的な空間をいかした大作を披露。竹は建て替えをすることになった、家元の自宅の竹林から採取したものを使用した。去来する懐かしい気持ちと対話しながらの作品は、来場者の心にも爽やかな初夏の思い出を残した。

# 鳥取県支部展

## 支部統合35周年念花展「花もよう」

5月26日～28日
米子しんまち天満屋
てんまやホール


1


2


3


4


5


6


7

1 伊澤康泉支部長の作品。
2 実行委員席の作品。タイトル「つなぐ」。
3 秦野織旬前支部長の作品。
4 役員席の作品。タイトル「清流」。
5 台上がりの花席。
6 ジュニア作品。
7 レリーフ（小）作品。

### 幅広い創造力を発揮

鳥取県の中心都市の一つである米子市。その繁華街の中にある米子しんまち天満屋内・てんまやホールにて、鳥取県支部展が開催された。

今回は一県一支部に統合されて35周年を迎えての記念展。いくつかの候補の中から、集客面、搬入のしやすさなどを考慮し、百貨店内にある会場を選んだ。

台上がり、床上がり、大小のレリーフ作品、竹を使った作品など、形態を変えて展示。草月の幅広い作風を存分に堪能できる工夫を凝らした構成で、来場者の関心を引いた。

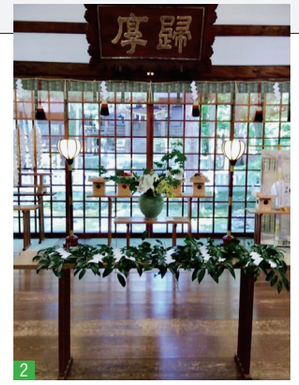
この他にも、ジュニア作品の展示や、支部研究会で制作した自作花器に花をいける「手造り花器コーナー」、体験教室の開催、草月のＤＶＤ鑑賞コーナーを設置するなど盛りだくさんな内容となった。

# 石川県支部展

## 奉納いけばな展・献花式 ―輝く未来へ　花deエール―

6月2日～4日
尾山神社


1



2


3


4


5


6


7


8

1 運営委員による合作。
2 岡部弘邦支部長による献花。この約1ヶ月前に珠洲市で起こった地震からの復興を祈念して。
3 拝殿入口の作品。ゆり、グロリオーサ 、しょうぶなど季節の花で参拝者を出迎えた。
4～8 展示された作品の一部。

### 20回目の節目の開催

伝統と文化を彩る金沢百万石まつりの開催に合わせ、石川県支部展が開催された。

今回は第20回の節目となる開催。「輝く未来へ 花deエール」のテーマのもと、支部会員約140名による34点の作品が並んだ。境内の散策路には16点の大作を配置。緑豊かな清々しい空間を、花で鮮やかに彩った。拝殿入口には、ゆり、オンシジウム、けむりの木、しょうぶなどの季節の花をいけ、参拝者を優しく出迎えた。このほか、アルミや発泡スチロールなど、異質素材を取り入れた斬新な作品などで草月の魅力を発信した。

今回初の試みとして、いけばな体験を実施。牛乳パックや竹、ペットボトルを花器とし、水切りや基本花型を指導した。予想以上に好評で、参加者たちの嬉しそうな笑顔から、花の力を再確認する機会となった。





いけばなインターナショナル名古屋支部
### 第56回いけばな展

2022年10月1日･2日
愛知／名古屋国際センター4階第1･2･3展示室
草月26名



2年ぶりの開催となったいけばな展。草月からは23作品を出品。秋らしい作品が並び、盛況のうちに幕を閉じた。

### 帯広で初のデモンストレーション

2022年10月2日
北海道／帯広六花亭本店 はまなしホール
鈴木泉晶 他



帯広で初のいけばなデモンストレーション。東京から本部講師の福島光加さんが応援にかけつけた。

### 結成70周年記念 第36回草月流うつぎ会展

2022年9月30日～10月2日
愛知(名古屋市)／有松重要伝統的建造物群保存地区
うつぎ会



会場の外には竹オブジェと有松絞りを使った作品を多数展示。場とも調和し、華やかになったと好評だった。

### 個展「ウクライナの戦火を逃れて」

2022年10月1日･2日
京都／生活あーと空間 ぱるあーと
Mishel Newall



ウクライナ人で草月を学ぶミシェルさんが、母国で開催予定だった個展を京都で開催。2日間で17作品を展示した。

### 中信華道会発足80周年記念諸流いけばな展

2022年9月24日･25日
長野(松本市)／井上百貨店
草月14名



3年ぶりの開催。会の80周年ということもあり、力作が並んだ。写真は会の幹事を務める矢野口寛子さんの作品。

### 国際交流イベントにいける

2022年9月25日
新潟／アオーレ長岡 市民交流ホールA
髙木双葵




外国人の参加が多いイベントのため、日本の伝統的なものを作品に取り込むことを考え、帯を使用した。

## 第41回久留米連合文化会会員華道展

2022年9月8日〜11日
福岡／久留米シティプラザ2階展示室
草月13名　写真作品：井上香峰（左）・中野揚弥（右）



3年ぶりの開催。他流派の先生方との交流も久しぶりだった。力作揃いで、草月の個性あるパワーも全開となった。

## いけばなワークショップ

2022年9月10日
イギリス（ロンドン市）／ Rosslyn Hill Unitarian Chapel
指導：高橋明楓



フラワーアレンジメントが主流の英国でのいけばな紹介。オアシスは使用せず、十文字留めに挑戦いただき大好評。

## 加西市老人会ふるさと芸能大会

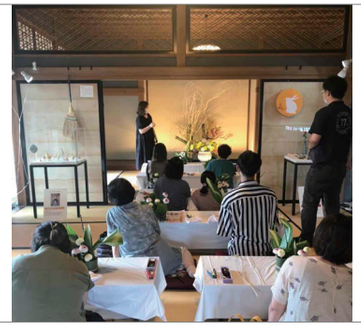
2022年9月2日〜4日
兵庫／加西市公民館
大橋義延



この場にいけるのは2回目。今回は1人でいけた。松、竹、生花、自宅で採取したとうごまなどを組み合わせて。

## 伝統文化体験プログラム

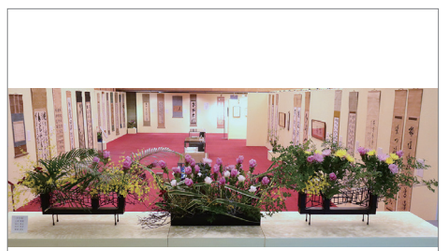
2022年9月4日（床の間展示：9月3日〜28日）
栃木（さくら市）／瀧澤家住宅
木村爽陽



市より「重陽の節句」のテーマをいただき、会場床の間への展示のほか、20名にいけばな体験を実施した。

## 南日本書道会創立60周年記念展

2022年8月25日〜30日
鹿児島山形屋文化ホール
上原草霞・柚木春水 他2名



南日本書道会の創立60周年記念展を祝う花として、大作2点、小品9点を出品。迎え花は紅白で華やかに彩った。

## 古民家にいける

2022年8月27日・28日
島根（浜田市）／ KIYA café
島根県支部西ブロック



木の香りのする静かなカフェに作品を展示。草月の竹と、カフェの丸木と異質素材を組み合わせ、素敵な空間に。





## 陽の会「2022レリーフ展」

2022年9月23日〜25日
愛知（岡崎市）／ RAPUTAL-G
草月47名



レリーフに挑戦した作品展。抽象画を描くようなイメージで臨み、合作ではデカルコマニーを取り入れてみた。

## 全日本いけばなコンクール（西日本地区）

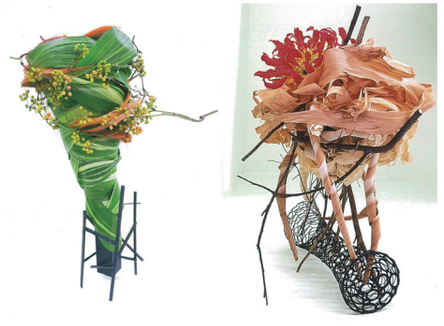
2022年9月23日〜26日
福岡／櫛田神社
草月8名　写真作品：山口松苑（左）・山口岳峰（右）



コロナ禍のため久々の開催となった花展。秋の色が溢れる力作が並び、神社を訪れた旅行客などが観覧していた。

## 第72回岐阜県華道連盟秋のいけ花展

2022年9月14日〜19日
岐阜高島屋 10階催会場
草月18名　写真作品：中島舟白（左）・籠原好茱（右）



3年ぶりの開催となった花展。待ち望んだ来場者・出品者によって、会場内が明るく和やかな雰囲気に包まれた。

## セラミックパークMINO開館20周年記念

2022年9月16日〜10月6日
岐阜（多治見市）／セラミックパークMINO
古田静波 他6名



エントランス、茶室アプローチと、ステージに作品を展示。エントランスのオブジェは長期展示された。

## 第45回西日本華道連盟福岡支部いけばな展

2022年9月10日〜15日
福岡／博多阪急7階イベントホール
草月14名




13流派で構成される西日本華道連盟の年に一度のいけばな展。今回、入り口の迎え花（写真）は草月が担当した。

## 服装学院特別講義に

2022年9月14日
東京（新宿区）／文化服装学院
大薗彩芳



2021年に続き、いけばなの講義と、学生が制作した衣装2点、メイクとコラボし、若いファッションと融合した。

## ホテルロビー迎え花

2022年7月29日〜9月30日
福島（郡山市）／ホテルハマツロビー
菅野草苑 他4名



ホテル側より「夏らしい、涼しげで、力強い作品を」と依頼され、和紙を使った軽快で爽やかな色合いの作品をいけた。

## レッツ・トライ！ いけばな

2022年7月30日
神奈川（川崎市）／世喜会館
指導：上野静勝




子どもたちに指導。2本のこみを使い、ひまわりなどを上手に立ち上げた。「いけばな楽しい！」との感想も。

## LOQUAT Villa SUGURO 祝い花

2022年7月25日〜31日
静岡（伊豆市）／ LOQUAT Villa SUGURO
市川愛霞　Photo: Norio Koito



古民家リノベーション宿泊施設に、開業の祝い花を。開放感のある天井や沢の景色など、環境との呼応を目指した。

## いけばな体験教室

2022年7月29日
鹿児島（日置市）／明信寺こども園放課後児童クラブ
指導：山口洋子



放課後児童クラブの子どもたちに体験教室を実施。『てしがはらあかねのいけばなえほん』の読み聞かせも好評だった。

## 祇園祭にいける 第36回いけばな展

2022年7月15日〜17日
京都／八坂神社前の祇園石段下から烏丸までの四条通
花崎陽文



名家名流が花を競い合う、恒例のストリートギャラリーのいけばな展。3年ぶりに各流派の作品が一堂に会した。

## 花展「天池昌綾」卒寿を祝って

2022年7月18日・19日
石川（金沢市）／古民家「茶房 寛」
草月13名



天池昌綾先生の卒寿と草月日輪賞の受賞を記念し、作品をいける。昌綾会の会員が一丸となり、竹火山を制作した。





## 第28回長崎原爆資料館献花

2022年8月8日〜10日
長崎原爆資料館
長崎県支部



長崎原爆資料館開館から始めた献花。今回で28回目となる。千羽鶴を色分けして使い、慰霊と平和への願いを込めて。

## 第42回りふれなーと展

2022年8月8日〜14日
静岡／クリエート浜松　ギャラリー35
児玉社中（中村真苑・中山緑香・原田涼香・遠山博蓮）



油絵、写真、映像作品120点が並ぶ中、4名で木の造形を出品。「目みたい」「くらげ？」などの感想をいただいた。

## 能面 UDA.NOMEN 宇高景子と東京面乃会

2022年8月5日〜9日
東京（中央区）／ T-BOX
会場構成：澤田晃映



宇高景子さん作の能面を中心に、東京面乃会のメンバー作品も展示された。能面の背景が伝わるような会場構成に。

東京五輪ブルガリア新体操団体
## 総合金メダル獲得記念碑仮除幕式

2022年8月8日
山形／村山市民体育館正面広場
大場仙華




市がブルガリアの新体操代表選手団のホストタウンに登録しており、交流の象徴となる記念碑の仮除幕式にいけた。

## 第68回広島平和美術展

2022年7月30日〜8月4日
広島県民文化センター 地下展示室
草月14名



被爆77周年、第68回の開催となった広島平和美術展。世界恒久平和への願いと追悼の意を込めて制作した。

## ホテル ロビー花

2022年8月1日〜30日
北海道／京王プラザホテル札幌
草和会



タイトルは「森と小鳥の物語」。ホテルの開業40周年記念とのことで、楽しく、夢のある作品とした。

## 初めての社中展

2022年6月25日・26日
青森／ GALLERY NOVITA
赤平寿桂社中7名



青森駅前のギャラリーで初めての社中展を開催。103名の来場者に、花で癒やしと笑顔を届けた。

## 山形県華道文化協会いけばな展2022

2022年7月1日〜4日
山形県芸文美術館
山形県支部山形地区役員一同



コロナ禍のため3年ぶりの開催。七夕をイメージし、花で思いを表現しながら、人と人の心を結ぶ作品をいけた。

## 平安神宮 献花展

2022年6月11日・12日
京都／平安神宮 額殿
写真作品：(右から) 田中由寿・橋本寿邦・宮原寿清



24流派の代表による献花展。神宮神苑の花しょうぶが咲きほこる中、献花展も華々しい作品群で賑わった。

## 令和4年度日立市芸術祭〜初夏のいけばな展〜

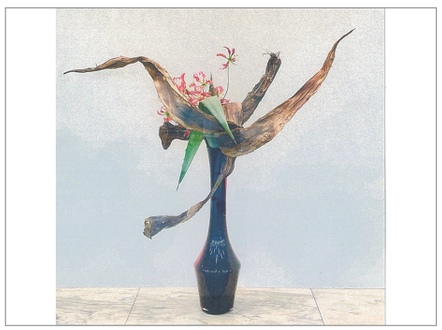
2022年6月25日・26日
茨城／日立シビックセンター
茨城県支部会員15名



テーマは「涼を感じる」。初夏の爽やかで涼しげな花材を使い、それぞれの感性で表情豊かに表現した。

## 初夏のコラボレーション

2022年6月10日〜13日
愛知（名古屋市）／ギャラリーチカシン
牧野純里グループ　写真作品：牧野純里



久々の開催となった社中展。日ごろのお稽古の成果を発表する場として、各々力を入れた作品が並び、大好評だった。

## 高和雅ヴァイオリンコンサート

2022年6月11日
広島県民文化センターホール
草月7名



音楽と花のコラボ。広島交響楽団と広島市の後援を得て、たくさんの方にご来場いただき、大盛況となった。





## 「腰掛けフラダンス教室」に

2022年7月14日
兵庫／リードあしや
林やえ子



自ら企画した、「腰掛けフラ（座りながら踊るフラダンス）」の会場に装花。2メートルのばしょうを使っていけた。

## 茅輪神事

2022年7月15日
愛知（名古屋市）／城山八幡宮
加藤房子・中川閑雅



大茅輪くぐりという、子どもも多く参加するお祭りに合わせ、献花殿にいける。紙風船とグロリオーサで華やかに。

## 守谷市文化協会いけばな展

2022年7月9日〜11日
茨城／守谷市中央公民館
草月9名　写真作品：今関泰青（左）・蒲田和青（右）



地域で夏のいけばな展を開催。生花の作品が並ぶ中、枯れものと緑の構成で出品。異彩を放ち、来場者から好評だった。

## サンデー・フォト・倶楽部 2022写真展

2022年7月12日〜17日
茨城／日立市角記念市民ギャラリー
萩谷瀧清・杉山貴彩・滑川瀧泰・菊池瀧幸・河合瀧楓・岩崎瀧加




写真展の会場に装花。ショーウインドーの合作は、盛夏の暑さ、展示作品に込めた熱い思いをイメージした作品とした。

## 岐阜県華道連盟七夕いけ花展

2022年7月1日〜8日
岐阜シティ・タワー43 2階特設会場
草月17名



JR岐阜駅に隣接する商業施設で毎年開催される七夕花展。2022年度は4流派が交代で出品した。

## 第45回福岡県華道代表作家展

2022年7月7日〜12日
福岡／櫛田神社　恵比須会館
草月7名　写真作品：片山健（左）・片山紅早（右）



日本いけばな芸術協会会員による花展。博多の祭、博多祇園山笠との共演で動の「山笠」、静の「華道」展として開催。

## 佐賀駅の花

2022年6月8日～11日
佐賀駅
大橋紅雪



JR佐賀駅の改札口前に、週替わりで各流派が作品を展示。数年に一度回ってくる当番を、とても楽しみにしている。

## 第39回「浜松・遠州=花の祭典」中日いけばな芸術展

2022年6月8日～13日
静岡（浜松市）／遠鉄百貨店本館8階
草月55名　写真作品：駒林青澄（左）・福留青優（右）



今回も無事に開催でき、特に週末は多くの来場者で賑わった。「この場にいられて幸せ」との嬉しい声も。

京都いけばなプレゼンテーション
## 華やいだくらし～薔薇を楽しむ～

2022年6月4日～6日
京都芸術センター
白鳥一晴・山本寿香　写真作品：白鳥一晴



いけばなの魅力や花のある暮らし、喜びを発信するイベント。29流派が参加し、ばら尽くしの作品で会場を彩った。

## ジャパンフラワー強化プロジェクト

2022年6月6日～15日
埼玉／浦和常盤十郵便局
藤本遙染



埼玉県産の花を使い、2022年のラッキーカラーで末広がりの作品に。好評につき、展示期間が延長になった。

## グループ遊展「スターマイン」

2022年6月4日・5日
新潟／アオーレ長岡
グループ 遊



会場の隈研吾氏設計の建築の象徴でもある「木」に合わせ、木の三角とアリウム・スターマインで作品を構成した。

## 四季の会いけばな展「城端別院善徳寺にいける」

2022年6月4日・5日
富山（南砺市）／真宗大谷派城端別院善徳寺
四季の会



参道横に龍をイメージしたインスタレーションを展示。参拝者を楽しませた。大広門、書院他19作品を展示。





## 日中友好会館1階エントランス通常展示

2022年6月1日～8月31日
東京（文京区）／日中友好会館 1階エントランス
古月清舟



竹の直線・曲線をいかし、会館のエントランスを一陣の薫風が吹き抜け、爽やかな1日が過ごせるよう願いを込めて。

## 藍染浴衣といけばな展示

2022年6月4日・5日
愛知県（名古屋市）／棚橋家住宅
近藤価世子・大津蘭術・足立香予子



「第38回有松絞りまつり2022」での展示。大盛況で、会期中には愛知県知事も来場された。

## ADC賞授賞式

2022年5月31日
東京（千代田区）／帝国ホテル東京「孔雀の間（南）」
大川礎賀



コロナ禍で2年分まとめてとなった授賞式。年鑑誌の表紙の色に合わせた装花で、お祝いの気持ちを表現した。

## シマエナガと初夏の北海道

2022年6月1日～30日
北海道／京王プラザホテル札幌
北海道支部



開業40周年を迎えるホテルから、ロビー装花の依頼を受けて制作。華やかな初夏の北海道を表現した。

## 第1ブロック展 ～みどりの風～

2022年5月28日～30日
群馬／高崎シティギャラリー
群馬県支部第1ブロック 代表：長岡啓映



「みどりの風」をテーマに、個人作と合作で構成。レリーフと異質素材のみのコーナーも設け、草月の多様さをPR。

## ～場にいける～

2022年5月29日
新潟市中央区
草月第1グループ風間社中11名



コロナ禍での花展開催を模索する茜家元の姿に力をいただき、教室と庭を会場に合作4作、個人作9作を展示した。

## 第30回 米子バラ会 春のバラ展

2022年5月28日・29日
鳥取／米子市児童文化センター
指導：上田美湖 他3名



春と秋に会員60名が集まり、ビーカーで育てた花を展示し、中央のテーブルに会員の花でいけた作品を飾っている。

## 第31回樹々の会展　花と器そして私

2022年5月28日・29日
富山県民会館2階 ギャラリー A・B
富山県支部 樹々の会



「自作花器にいける」をテーマに開催。樹々の会では2年に一度、県内の陶房で花器を制作している。

## 書といけばなの出会い展

2022年5月24日〜29日
東京（中央区）／セントラルミュージアム銀座
今村草玉社中 他草月9名



華道界と書道界の交流展。いけばなと書がマッチして素敵な空間になっていたとの声をたくさんいただいた。

## 「眠れる森」露華あつこ展

2022年5月25日〜31日
東京／銀座ギャラリー・プラスノーション
露華あつこ



テキスト5の「アートとの語らい」を意識し、画家でもある自身の絵画と、いけばなの融合を目指した。

## 第51回京都女流京華会いけ花展

2022年5月21日・22日
京都文化博物館
平石丹珠朋・小倉丹珠照・武田玲雪・加賀山丹珠礼・塩見丹珠麗・堀野爽香



コロナ禍ではあったが、9流派による力作が披露され、約８００名の来場者で賑わった。写真は平石さんの作品。

## 第77回春の院展

2022年5月22日〜30日
西武福井店 6階特設会場
木下虹樹・松永清泉・山根恵彰・伊坂千松・中元萠寿



5人で心を一つにし、グロリオーサ、アレカやし、ばしょうなどで、院展会場にふさわしい作品をいけた。





## 第53回 水戸市芸術祭 いけばな展

2022年5月20日〜22日
茨城／水戸芸術館　現代美術ギャラリー
草月37名



水戸市の7流派が一堂に集まるいけばな展。草月流は竹と割竹を使い、力強さと優雅さの漂う空間を創造した。

## 柳家緑也真打昇進披露公演

2022年5月21日
千葉（流山市）／スターツおおたかの森ホール
諸岡萌舅社中




２回目となる落語会の舞台花。竹を使った作品で、舞台を華やかに彩り、高座を引き立てた。

## 鯖江市華道連盟 合同華展

2022年5月14日・15日
福井（鯖江市）／響陽会館
草月10名



鯖江市の華道連盟による年に一度の花展。左は藤井春典さん、右は黒田栄春さんの作品。

## インターナショナル カルチャーデー

2022年5月20日
東京／アオバジャパン・バイリンガルプリスクール三鷹キャンパス
指導：塚本智遙



園児たちが各国のブースを回り、異国の文化、言語などを学ぶイベント。日本ブースではいけばなを紹介した。

## ベスト・オブ・ティーン

2022年5月4日・5日
東京（大田区）／コングレスクエア羽田
指導：横井紅炎




「ベスト・オブ・ティーン２０２２」にて。初日はしょうぶの葉組みに挑戦してもらい、会場に飾った。

## 第53回広島花道連盟展

2022年5月13日〜16日
そごう広島店 本館9階特設会場
髙橋篁赫社中8名・高橋陽春社中4名



コロナ禍対策のため、合作での出品に。久しぶりの花展を楽しみながら、初夏の花材で爽やかな作品を制作した。

## 2022徳島代表いけばな展

2022年4月16日・17日
徳島／あわぎんホール
故三木萠庭社中・小原博雪・新田陛嘉・板井修晴・出村丹雅草・村上雅祥



各流派参加の代表いけばな展が開催され、草月からは代表出品3作・賛助出品3作を出品した。写真は新田さんの作品。

## 春の宮日華道連盟いけばな展

2022年4月30日〜5月1日
宮崎市民プラザ
草月13名　写真作品：樋口南草



気温の高い日が続いていたため、長持ちする花材でいけた。晴天にも恵まれ、多くの方にご覧いただいた。

## 横浜開港アンデパンダン展

2021年3月31日〜4月4日
神奈川（横浜市）／伊勢山皇大神宮 庭園東屋
上原瑞光



籠の舟花入れを2つ使い、つり舟と置き舟をいける。境内の結婚式場からも作品が見え、来場者に喜ばれた。

## 宮崎山形屋 玄関いけばな

2021年4月5日〜11日
宮崎山形屋
坂元涛草



みつまた、丹頂アリウムなどを使い、心軽やかで、楽しく明るい気持ちになるよう願いを込めていけた。

## 映画「People Just Do Nothing: Big in Japan」

2020年春
映画「People Just Do Nothing : Big in Japan」
大谷美香



イギリスBBCの人気ドラマシリーズの映画。舞台となる東京を彩るモダンな花、という依頼に沿って装飾した。

## 野外でいける

2021年3月〜4月
群馬（桐生市）／梅田ふるさとセンター
安藏和雪



ふるさとセンターの大きな庭に、一人で試行錯誤しながらいけた。花材は全て自宅の花木を使用。



# ● 学 校 い け ば な

## 花育 〜創立40周年

2022 11/19

神奈川／川崎市立下作延小学校
指導：月本貞静・福島倖静・植田静麗・上野静勝



創立40周年おめでとうの気持ちを込めて、記念日の花をいけました。「花のことがもっと好きになりました」との嬉しい感想をいただきました。

## 推しのキャラクターで

2022 11/19〜20

京都／同志社女子大学
指導：石走俊桂




11月に行われるイブ祭では、サンリオの推しのキャラクターのイメージカラーを取り入れた個人作を発表。かわいさ溢れる展示となりました。

## 笑顔のリース作り

2022 11/7

富山県立呉羽高等学校
指導：村上吏瑛




ひむろ杉を土台につけて、ワイヤーで固定する作業からスタート。グルーガンで思いおもいに飾りをつけて、わくわく、楽しい部活動になりました。

## 碧鈴祭にいける

2022 11/12〜13

三重／鈴鹿医療科学大学千代崎キャンパス
指導：髙木紫星




大学祭に、それぞれの表現でいけばなを披露。将来医療分野での活躍を目指す部員たちの花は、どれも優しさに溢れ、来場者に癒やしを与えていました。

## 「美しく魅せるいけばなと器の関係」

2022 10/29

佐賀大学
指導：後藤麗美・平井夏光・齋藤庭黎・内藤華了



有田焼窯業者・学生の方々に、いけばなデモンストレーションや体験いけばなを実施。創作意欲・花器開発へ刺激を与えることができました。

## 公開いけ花教室

2022 11月

東京／足立区立梅島第一小学校
指導：小林泉華



いけばなはたいへん人気の講座。この日のテーマは秋のまぜざし。土曜のため保護者の見学可としましたが、一緒にいける親子もいて、楽しいひとときでした。



［お詫びと訂正］ 本誌前号「学校いけばな」に誤りがありました。訂正するとともに、お詫び申し上げます。 P.22 中段右 （誤）片山紅草 （正）片山紅早

ワークショップ・レポート

# 茅葺き × いけばな

5月7日、茅葺きと花を融合させるワークショップが草月会館にて開催された。茅葺き指導は、伝統的な茅葺き技法をいかし、現代に応用する取り組みを進める株式会社くさかんむり代表の相良育弥さん。そして、いけばな監修は中田和子さん(草月流本部講師)が行った。二人のトークショーの後、藁や稲、葦といった材料を前にして、一斉に制作開始。イメージする形を実現するための留め方や、道具の使い方などがアドバイスされた。茅葺きに対する花のバランスも人それぞれ。いけばな未経験の受講生も多かったが、石庭の空間に触発され、のびのびとした創造力あふれる作品が完成した。













ワークショップ 第二弾　樹皮を使った、かごづくり

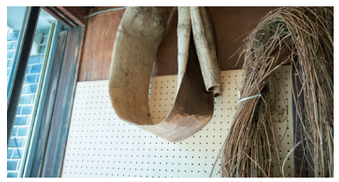
## 「編組 –へんそ–」ワークショップ

蔓や樹皮を採集し、かごをはじめとした編組品の制作に取り組む、渡部萌さん。
「ロエベ財団 クラフトプライズ 2023」で特別賞を受賞しています。
渡部さん指導のもと、この日のために採取した樹皮でかごづくりを体験しませんか？

2023 年 9 月 2 日（土）　10：00 ～ 17：00（予定）

| | |
|---|---|
| 参加資格 | どなたでも（草月流を学ばれている方は、資格を問わず参加可能です） |
| 講 師 | 渡部萌（編組品作家）、秋山美晴（草月流本部講師） |
| 会 場 | 草月会館（東京都港区赤坂 7-2-21） |
| 受講料 | 16,000 円（税込）※材料費・昼食代含む |
| 募集人数 | 30 名 |
| 申込方法 | 8 月 7 日(月) 10:00 より申込受付開始。下記の電話もしくは E-mail にて、名前と会員番号をお伝えのうえお申込みください。※ 8 月 11 日(金・祝)～ 20 日(日)は夏季休館のため、メールのみの受付となります。ご了承ください。 |

お問合わせ［ 事業課 ］ TEL：03-3408-1156 ／ E-mail：kikaku@sogetsu.or.jp





講師の渡部萌さん　Photo:Tsunaki Mizunoya

季刊『草月』最新号（2023 年夏号）にて、渡部萌さんの作品に家元が花をいけています。アトリエ訪問も必見！ ぜひ誌面でご覧ください。





## 花との語らい

**いけばなインターナショナル 東京支部6月昼食会**
6月14日
ホテルニューオータニ東京

高円宮妃久子殿下御臨席のもといけばなインターナショナル東京支部6月昼食会が開催された。トルコ・シリア地震救援金の贈呈式の後、「花との語らい」をテーマに家元と草月流本部講師の澤田晃映さんによるデモンストレーションが行われた。家元は自作の花器にいけた小品2点と中作1点を、澤田さんは朝、昼、夕ぐれ、それぞれの語らいを表現した小品を3点いけ、一人の豪華なデモは300名が集う会場を沸かせた。いけばなによって笑顔が溢れる和やかな時間となった。



家元によるデモンストレーション作品。





「花との語らい」をテーマにしたデモ。右は家元、左は本部講師の澤田晃映さん。

## 38年ぶりの公開

**ケニー・シャーフ個展「I'm Baaack」**
6月10日～30日
草月プラザ

アメリカ人アーティスト、ケニー・シャーフの個展が草月会館とNANZUKA UNDERGROUNDの2会場にて開催された。

1985年、第三代家元・勅使河原宏がプロデュースした「アート・イン・アクション」は、ニューヨークを中心に活躍する9人の若手アーティストを集め、草月会館で紹介する画期的なイベントだった。そこでシャーフの作品も紹介された。今回の展示では、当時シャーフ自身がペイントと改造を施したキャデラック「夢の車」が38年ぶりに公開され、話題となった。

会期中、シャーフと宏の長女である勅使河原季里のトークショーが行われ、80年代のアートシーンを振り返った。



左がケニー・シャーフさん、右が勅使河原季里さん。





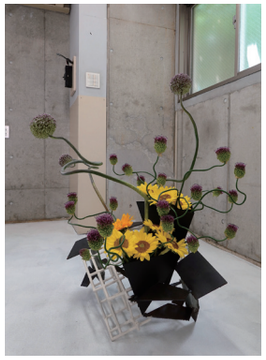

注目の的となった「夢の車」。初代家元・蒼風のキャデラックを使用して誕生した。

# 新天地を彩る

**鉄花器工房**
**お披露目いけばな展**
5月26日～28日
鉄花器工房

草月の鉄工所が大田区千鳥へ移転し「鉄花器工房」となった。新天地でのお披露目いけばな展を開催。家元個展「勅使河原茜展 ひらく」の球体作品に使用された鉄のパーツを再構成して家元が鉄花器を制作し、花をいけた。

［鉄花器についてのお問合わせ］
TEL：03-3408-9116

お披露目いけばな展にて、鉄花器にいけた家元作品。

# 蘭で遊ぶ

**第62回蘭友会らん展**
**～蘭で遊ぶ～**
6月8日～11日
サンシャインシティ

第62回蘭友会らん展にて東京南支部が蘭を主役にいけばな作品を展示した。蘭友会の方が丹精込めて育てた蘭をいけこみ当日にご提供いただき、参加者がくじで引き当てた蘭を主役にいける。いけ手は悩みながら、楽しみながら蘭の魅力を最大限に引き出せるよう、作品に取り組んだ。



東京南支部による合作。

## 動画で見る、勅使河原霞

**草月の歴史を振り返る映像1本を、動画配信サイトにて配信中です。**

**【配信動画】「迎賓館にいける」**
**（9分／1978年）**
**迎賓館に招かれ、第二代家元・勅使河原霞が副会長の時にデモンストレーションを行った映像です。御所車にいけた大作から小品まで、華麗ないけばな作品で海外からのお客さまをお迎えしました。**
**貴重な映像をぜひこの機会にご覧ください。**
**【料金】1,100円（税込）**
**※詳細はホームページをご覧ください。**
**次回は宏家元の貴重な動画を配信します。お楽しみに！**



第二代家元・霞

**［お問合わせ］事業課**
**TEL：03-3408-1156 ／ E-mail：kikaku@sogetsu.or.jp**



**草月文化活動支援基金へのご協力ありがとうございます**

2023年5月～6月に当基金に寄せられた寄付金は、左記の通りです。（掲載は一万円以上、敬称略）
レッツ・トライ！ デモンストレーション9期卒業生、4クローバーズ ホテルにけるⅣ 五月のかぜ 出品者一同、土井有加、東京西支部、藍と花 出村丹雅草グループ出展者一同、矢部桂萩 社中、株式会社 富士陰ビルディング、田中杏舁、第4回新いけばな主義 出品者一同15名、小原博雪、安田青華、諸橋映水

**訃報**

山野朱美（爽葉）三重県／理事 二〇三年一月九日 享年七十歳
田中きのゑ（き乃）長野県／理事 二〇二三年五月八日 享年九十四歳
髙橋育子（朱園）埼玉県／理事 二〇二三年六月四日 享年八十一歳
館山とみ子（深翠）青森県／理事 二〇二三年七月五日 享年八十五歳





今なら、入会金・再入会金が不要の講座も。この機会に、ぜひご受講ください！

※日程、講師は変更になることがあります。また、新型コロナウイルス感染症の影響や、天災及びその他不可抗力による事由により、開講を延期または中止する可能性がございます。予めご了承ください。変更が生じた場合は随時告知いたしますので、草月流ホームページをご確認いただくか、教室運営課または草月WESTまでお問合わせください。

## サブテーマ「線色塊」

2023年度は「草月ってなんだろう?」を深掘りするために
サブテーマ「線色塊」を設け、複数の授業で取り上げます。
創流100周年に向けて、草月いけばなの原点でもある「線色塊」と改めて向き合ってみましょう。

創流100周年に向けたテーマとして「草月ってなんだろう？—What's SOGETSU?—」を発表しました。（略）今年度はこのテーマをさらに深く掘り下げるため、「線色塊」というサブテーマを設けました。

「線」「色」「塊」は、いけばなを構成する三大要素です。『草月カリキュラム3』のテーマにもなっていますので、草月を習っている方であれば、きっと幾度となく耳にしていることでしょう。枝の伸びやかな線を強調したり、花の色をきわ立たせるために配色を工夫したり、花を密集させてボリューム感をもたせたりと、「線」「色」「塊」の三つの要素を意識しながら構成することで、作品はでき上がります。（略）「線色塊」を意識し、植物とじっくり対話してみてください。その結果、いつもとはまるで違う作品になることもあるでしょう。それこそがいけばなの醍醐味ですし、自分の表現の幅を広げるきっかけにもなるはずです。

『草』279号 P.2～3「だから、おしゃべりはやめられない」より

## 家元研究科

毎回テーマが設けられ、いけばなをさらに深く追究することを目標とします。感性と技術を磨く最高の勉強の場です。AT賞選考対象クラス。

入会金・再入会金が不要

| | 金 | 土 | 月 | テーマ | 講師 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 14時/18時 | 10時30分/14時 | 10時30分/14時 | | |
| 9月 | 29日 | 30日 | 25日 | マッス | 川名哲紀 |
| 10月 | 27日 | 28日 | 30日 | （調整中） | 日向洋一 |

●申込方法：新入会をご希望の方は、TEL・FAX・E-mailで事前にご連絡ください。毎月の受講は、日程・時間をご確認の上、ご来館ください。 ●受講料：12,200円（花材費込み）

**「本部家元研究科遠方割引キャンペーン」を実施します。**

東京の本部教室から遠方にお住まいの方限定で、「本部家元研究科遠方割引キャンペーン」を **10月より** 実施いたします。
新型コロナウイルスの影響などで本部から足が遠のいてしまっていた方、新規に参加したくてもできなかった方、この機会に本部家元研究科を受講してみませんか？
一歩前に踏み出し、感性・表現をさらに磨くチャンスです。あなたの挑戦をお待ちしております！

※割引対象の方には、今号に割引券を同封しております。受講方法・料金など詳しくは割引券をご覧ください。

## 家元教室

資格を問わず、どなたでもご参加いただけるいけばな教室です。ワンレッスン受講することもできます。

再入会金が不要

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9月 | 火曜 | 5日 | 篠崎洵雅 | 12日 | 中村草山 | 19日 | 加藤久美子 |
| | 木曜 | 7日 | 坂口水恵 | 14日 | 岡崎　忍 | 21日 | 隅出美泉 |
| 10月 | 火曜 | 3日 | 中村草山 | 10日 | 五十野雅峰 | 17日 | 加藤久美子 |
| | 木曜 | 5日 | 片山　健 | 12日 | 坂口水恵 | 19日 | 岡崎　忍 |

●原則として6日間、第1・2・3火曜と木曜 ●10時30分／14時／18時（各日3回開講） ●入会金：11,000円
●月謝：12,040円（月3回分・花材費別） ※証書申請可能。 ※再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。
※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可（6,500円・花材費込み／都度払い）。

本部教室
〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-21 ／ TEL：03-3408-1209 ／ FAX：03-3405-4947 ／ E-mail：kyoshitsu@sogetsu.or.jp

本部教室
〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-21 ／ TEL：03-3408-1209 ／ FAX：03-3405-4947 ／ E-mail：kyoshitsu@sogetsu.or.jp

## 「今だから、造形花（いけばな）」

8期生を募集します。
創造の歓びを、そしてクリエーターを目指す人、全員集合！

| 受講日 | 講師 | 内容 |
|---|---|---|
| 9月から全6回<br>原則として水曜日<br>9/6、10/11、12/6<br>2024年1/24、<br>2/21、3/27 |  <br>川名哲紀 | 「今だから、造形花」は、伝統や常識にとらわれず植物という天与の素材を、それぞれの創造力で生き生きと変化させ、さまざまな「場」に「造形花」を展開しながら、自らを表現できるクリエーターを育成する講座です。<br>「場」に応じた実践的な制作、造形力を高めるための考え方などを学びながら、貴方の積極的な活動の幅を広げるために楽しく有意義に刺激し合いながら学んでいきましょう。<br>基礎科6回/1年を受講された方は、展覧会を目指しながら、自らを発表する「場」を探す、プレゼンテーションなどより実践的な研究科6回/1年を受講することが出来ます。<br>[内容]<br>「根源の力」、「命ある線」、「空間に際立たせる『形』の演出」、「自然との対応」など |

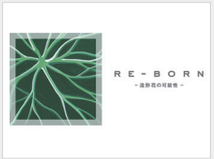
●授業時間：11時～16時30分　●受講料：85,800円（前期 42,900円 / 後期 42,900円。半期分納可。花材費・昼食代込み）　●申込資格：草指連会員　●定員：40名（ただし定員になり次第締め切ります）
●申込方法：はがき・FAX・E-mailに、①名前②草指連会員番号③住所④電話番号⑤（お持ちの方は）メールアドレスをご記入の上、「今だから、造形花」受講希望の旨を教室運営課までお知らせください。または右のQRからお申込みいただけます　●申込締切：8月23日（水）

「時代と共に……」
これが草月の根本です。


授業風景

### 「今だから、造形花（いけばな）」第7期卒業展 "RE-BORN-造形花の可能性-" の記録動画が公開されました

「今だから、造形花」2年間の総仕上げとして、今年2月に開催された第7期卒業展の記録動画が公開されました。もとは学校であった空間が造形花によって、そこでしか成立しない空間に変化しています。ぜひご覧ください。
【公開情報】
https://www.sogetsu.or.jp/columns/imaike_7_exhibit/
または右のQRより、どなたでも無料でご覧いただけます。




## 随時募集中　陶芸コース

自作花器を作りたい方、ものづくりが大好きな方大歓迎！
初心者、入門の方もお待ちしております。

植物が持っている美しさだけに頼らない造形力を身に付けるため宏前家元が開講した「造形科教室」。幅広い角度から「創造する精神」を学ぶ本講座は、草月の大きな特色となっています。草月流を学んでいる方ならどなたでもご受講いただけます。

| 受講日 |
|---|
| （原則月2回 火曜日、水曜日）~~5月30日~~、~~31日~~、~~6月27日~~、~~28日~~、~~7月25日~~、~~26日~~、9月26日、27日、11月7日、8日、12月19日、20日、2024年1月23日、24日、2月20日、21日 |

●講師：飛松弘隆 ●授業時間：11時～16時　●受講料：年間8回コース 101,620円、年間5回コース 71,240円（※焼成費、送料別途）、体験レッスン 15,000円（未経験者対象、1回のみ、焼成費と送料込み）　●申込資格：草月流学習者（入門の方からご受講いただけます）　●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどに、①名前②草指連会員番号③住所④電話番号⑤（お持ちの方は）メールアドレスをご記入の上、「造形科陶芸コース」受講希望の旨を教室運営課までお知らせください。●申込締切：随時お申込みいただけます。



## 男子専科

初心者からベテランまで、男性限定のいけばな教室。いけばな作家や男性指導者の育成をめざすクラス。随時受付。

再入会金が不要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 9月 | 6日（水）　西山光沙 | 10月 | 6日（金）　岩渕幸霞 |
| | 15日（金）　岩渕幸霞 | | 11日（水）　西山光沙 |
| | 22日（金）　澤田晃映 | | 20日（金）　岡崎　忍 |

●開催日は水曜1回、金曜2回　●18時（受付：17時30分～19時30分）　●入会金：11,000円　●月謝：12,040円（月3回分・花材費別）※家元教室・家元研究科への振替ができます。※証書申請可能。※再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可（6,500円・花材費込み／都度払い）。

## インターナショナルクラス

外国の方々を対象としたクラスです。授業は英語で行われます。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 9月 | 4日　高木水染 | 10月 | 2日　坂口水恵 |
| | 11日　石川己青 | | 16日　石川己青 |
| | 25日　福島光加 | | 23日　高木水染 |
| | | | 30日　福島光加 |

●毎週月曜日　●10時30分～12時30分　●受講料：5,660円／1回（花材費込み。月4回目以降は5,300円）
※証書申請可能。※祝日は休講となります。

## 公開講座

普段のお稽古ではなかなかチャレンジできない内容で創造性を大きく伸ばすチャンス！
経験豊富な講師の講義で、知識と技の引き出しがさらに広がります。

| 受講日 | テーマ | 講師 | 内容 |
|---|---|---|---|
| 9月30日（土） | 【線・色・塊・蒼風】<br>「蒼風に学び、霞に想う」<br>[前編：蒼風]<br>※[後編：霞]は2024年3月開講予定です。9月(前編)のみ、3月（後編）のみの受講も可能です。 |  <br>狩野朱紅 | 創流100周年を前に、前編は蒼風先生に学びましょう。<br>午前は映像や写真で在りし日の蒼風先生を回想しながら、当時の様子やご講義について解説します。<br>午後は一種の花材で「線・色・塊」を意識し、自由花や花型を制作します。「どこを切って残すのか……」これは自分の美意識が問われ、蒼風先生時代の大変勉強になったお稽古課題のひとつでした。<br>蒼風先生直伝の教えは、必ずやあなたの表現の幅を広げることでしょう。 |
| 10月28日（水） | 【塊】<br>「塊－カタマリ－」を面白がろう |  <br>岡本青珠 | 予想外に膨らむ様が面白い「発砲ウレタンスプレー」を使い、「塊（かたまり）」を創り出します。午前中はお手持ちの枯れもの・着色花材等と組み合わせたレリーフ作品、午後は生のはらんと組み合わせた立体作品に挑戦しましょう。<br>発砲ウレタンは絵の具・マーカー・カラースプレー等で着色することもできますし、固まればカッターナイフで切ることもできます。<br>植物だけでは表現できない「塊（かたまり）」を面白がりましょう！ |

●授業時間：10時30分 ～ 16時　●受講料：12,970円（材料費・昼食代込み）／入会金なし
●申込資格：草指連会員　●定員：40名　●募集：随時受付中。郵便振替または会員サービス部窓口でお申込みください。[郵便振替口座] 口座番号：00180-6-119808 ／加入者名：（一財）草月会 教室運営課　※払込取扱票の通信欄に①受講希望日②草指連会員番号③名前④（お持ちの方は）メールアドレスをご記入ください。●申込締切：開催日の1週間前（ただし定員になり次第締め切ります）　※お申込み後のキャンセル・ご返金はいたしかねます。※お申込み後でも、翌月以降（年度内）に振替受講が可能です。ご希望の方は、受講日の10日前までにご連絡ください。それ以降のご連絡の場合、実費（材料費および昼食代）をいただきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

本部教室
〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-21 ／ TEL：03-3408-1209 ／ FAX：03-3405-4947 ／ E-mail：kyoshitsu@sogetsu.or.jp

草月WEST　〒600-8842 京都府京都市下京区朱雀堂ノ口町20-4 ホテルエミオン京都1階／TEL：075-366-3647／FAX：075-366-3648／E-mail：west@sogetsu.or.jp

## 草月 WEST　秋の特別野外セミナー

秋の京都で竹の合作に挑戦！
草月学習者であれば、どなたでも参加できます！

【日　　時】 2023 年 10 月 1 日（日）10 時～ 17 時
※終了時間は制作状況によって前後します。
【会　　場】 梅小路公園／京都市下京区（JR 梅小路京都西駅 目の前）
※草月 WEST から徒歩数分です。
【技術指導】 草月アトリエ
【参 加 料】 16,000 円（教材費・昼食込み）
【内　　容】 秋空の下で竹のグループ合作に取り組みます。
ドリルや工具の使い方、重量バランスの取り方など、小品とは全く違う制作手順を草月アトリエの技術指導を受けながら学びます。市民の憩いの場である公園が会場ですので、行きかう皆さまの注目が集まります。
草月のパワーを発揮して、あっと驚く大作を完成させましょう！





●申込方法：はがき・FAX・E-mail などの書面で、①名前 ②草指連会員番号（お持ちの方）③住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス ⑥門下別（または所属教室名）をご記入の上、草月 WEST までお送りください。●申込締切：9 月 9 日（土）
●参加資格：草月学習者（初心者からベテランまでどなたでもご受講可）
※本講座は、[公益財団法人京都市都市緑化協会]が主催する「梅小路公園グリーンフェア 2023 秋」事業の一環として出展し、同協会の協力を得ながら開講します。
※作品の撤去は 10 月 5 日（木）にスタッフが行います。

サブスクリプション（定額見放題）の動画配信サービス

## anytime SOGETSU　エニタイム・草月

| | | |
|---|---|---|
| 100本以上の動画を見放題 | anytime SOGETSU は勅使河原茜家元と草月流本部講師による、いけばなデモンストレーションの動画が月額定額で見放題となるサービスです。草月のエッセンスが詰まったテキストに掲載されている各テーマより、実際に草月 WEST 家元教室などで披露されたものを、何度でも必要な時にご覧いただくことができます。毎月新しい動画が追加されます。 | 月額※<br>2,200円（税込）<br>※開始日より起算 |
| 動画の個別販売 | サブスクリプション（定額見放題）は「ちょっと負担」という方は、目的の動画を 1 本から購入できます（30 日間見放題）。 | 1本<br>550円（税込）～ |
| 無料動画コンテンツ | 「草月WEST　家元教室いけばな展」、「ホテルエミオン京都のロビーのいけ込み風景」のほか、草月WESTのスタッフがいけばなの基礎知識をゆるーく解説する「いまさら聞けないいけばなの基礎知識」もございます。第一弾【ハサミ編】、第二弾【花器編】、第三弾【剣山編】に続き、番外編【いまさら聞けない お稽古準備編】がアップされています。お稽古合間の箸休めにお楽しみください。<br>※ご視聴いただくには会員登録（無料）が必要となりますので、この機会にぜひご登録くださいませ！ | 0円 |




anytime SOGETSU には、草月流ホームページの「草月を習う」メニュー、または右上の QR より、どなたでもお入りいただけます。https://www.sogetsu.or.jp



## 家元研究科

受講者自らの植物表現を追求し、感性と技術に磨きをかけるクラスです。
新入会・再入会大歓迎。AT 賞選考対象クラス。

入会金・再入会金が不要

| | 金曜<br>14時30分 | 土曜<br>10時30分 /14 時 30 分 | ―創流 100 周年に向けて―<br>草月ってなんだろう？ | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 9 月 | 15 日 | 16 日 | 2027 年の創流 100 周年へ向け、新たなテーマが掲げられました。<br>「私はなぜ花をいけるのか？」、「私が目指す植物表現とは？」、「私が追求したい素材は？」、「自由花って何？」これらの問いに対する答えを追求し続け、あなたにとっての「草月」を探求しましょう。 | 竹中麗湖 |
| 10 月 | 20 日 | 21 日 | | 片山 健 |
| 11 月 | 17 日 | 18 日 | | 福島光加 |

●申込方法：はがき・ＦＡＸ・E-mailなどの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ●受講料（家元）：12,200円（花材費込み）／（本部講師）：10,100円（花材費込み）
●授業開始の20分前から受付を開始します。

## 家元教室

毎回テキストのテーマからの 2 作、講師のデモンストレーションがあります。
たっぷり勉強できる充実の 2 時間。

再入会金が不要

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 9月 | 金曜 | 8 日　加藤久美子 | 22 日　中田和子 | 29 日　石川己青 |
| | 土曜 | 9 日　〃 | 23 日　〃 | 30 日　〃 |
| 10 月 | 金曜 | 6 日　澤田晃映 | 13 日　岡本青珠 | 27 日　中田和子 |
| | 土曜 | 7 日　〃 | 14 日　〃 | 28 日　〃 |

●月3回　金曜・土曜　●金曜（14時30分／18時30分）、土曜（10時30分／14時30分）　●入会金：11,000円　●月謝：11,000円（月3回分・花材費別）●申込方法 ： はがき・ＦＡＸ・E-mailなどの書面で、希望日時・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ※証書申請可能。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可能（4,500円・花材費1,700円／都度払い）。 ※見学可能。

土曜日14時30分からの家元教室は、オンラインでも受講できます！

## 公開講座

ご希望のクラスを1回ごとにお申込みできる魅力ある講座です。
講師の個性がいかされたテーマにチャレンジできます。ぜひご受講ください。

| 受講日 | テーマ | 講師 | 内容 |
|---|---|---|---|
| 8 月 23 日（水） | SNS からえた情報をとびこえ<br>いけばなをみつめ<br>深化する |  <br>中田和子 | 想いもかけない「いけかた」と「コンセプト」を提示いたします。そこから全てがはじまります。 |
| 10 月 25 日（水） | 繰り返す結び目、<br>紙ひものオブジェ |  <br>田渕章流 | 紙ひもを結んでゆき、結び目との間に作られる平面を楽しみます。自立するように作られた平面と植物素材をあわせて造形しましょう。 |

●授業時間：13 時～ 16 時 ●受講料：4,400 円（素材費別）●定員：中田クラス 24 名・田渕クラス 30 名 ●申込資格：草指連会員 ●申込方法：はがき・FAX・E-mail などの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月 WEST までお送りください。●申込締切：開催日の前々週の週末（ただし定員になり次第締め切ります）



草月WEST　〒600-8842 京都府京都市下京区朱雀堂ノ口町20-4 ホテルエミオン京都1階／TEL：075-366-3647／FAX：075-366-3648／E-mail：west@sogetsu.or.jp

## 年間行事予定

| | |
|---|---|
| 8月11日(金・祝)〜20日(日) | 草月会館夏季休暇 |
| 9月6日(水)〜26日(火) | 草月の秋2023(玉川髙島屋S・C)　※家元・東京西支部・東京南支部・神奈川支部によるフラワーク |
| 9月27日(水)〜10月2日(月) | 第56回日本いけばな芸術展(日本橋髙島屋S.C. 8階ホール)　※家元通期出品 |
| 10月8日(日) | 家元による献花式　東寺(京都)・真言宗立教開宗1200年慶讃大法会法要 |
| 10月15日(日) | 家元による献花式　東大寺(奈良)・東大寺開山良弁僧正1250年御遠忌法要 |
| 10月18日(水) | 財団理事会(草月会館/11時〜) |
| 10月22日(日)〜29日(日) | 山中花回廊PART19(石川県加賀市山中温泉) |
| 10月25日(水)〜30日(月) | 第104回草月いけばな展(日本橋髙島屋S.C.) |
| 11月23日(木・祝) | 家元によるプレミアムデモンストレーションショー(草月会館)※ |
| 2024年1月13日(土) | 2024年「茜家元と迎える新年の会」(草月ホール・ホテルニューオータニ東京) |
| 1月24日(水) | 財団理事会(草月会館/11時〜) |

※今年の秋は、家元によるデモンストレーションでプレミアムな学びを！
参加方法は『草』10月号にて発表します。家元講習会やサマーセミナーを毎回ご受講の方は必見です！

## 各地の展覧会

| | | | |
|---|---|---|---|
| 藍をつなぐ。使いつくす。 | 〜9月3日(日)　徳島県立阿波十郎兵衛屋敷 | 出村丹雅草 | ☎ 090-4500-0595 |
| からんとそーじゅーのふたり展 ぱーと2<br>たいせーもいるよ | 8月3日(木)〜7日(月)<br>アメリカ橋ギャラリー(渋谷区) | 橋本佳蘭 | karan@ymail.ne.jp |
| 長崎原爆資料館献花(原爆忌にいける) | 8月8日(火)〜10日(木)　長崎原爆資料館 | 松本夢香 | ☎ 090-7927-3158 |
| 第12回譲の会いけばな展 | 8月26日(土)・27日(日)　富山縣護國神社 | 栂野惠秀 | ☎ 076-423-5337 |
| 幸草会 いけばな展<br>「もりおか町家物語館」にいける | 9月2日(土)・3日(日)　もりおか町家物語館 | 鶴田翅幸 | ☎ 090-2998-9481 |
| いけばな展「萩 ーeverlastingー」 | 9月15日(金)〜17日(日)　銀座ギャラリーあづま | 林萩赤 | syuuseki801@gmail.com |
| 佐倉洋佳社中展<br>「hanaシリーズNo.5　TAKEと遊ぶ」 | 9月23日(土・祝)・24日(日)<br>さいき城山桜ホール(佐伯市) | 佐倉洋佳 | ☎ 090-5020-8703 |
| 第67回草月星秀会展 | 9月30日(土)・10月1日(日)<br>北日本新聞ギャラリー(富山市) | 岡崎忍 | ☎ 076-437-4100 |
| 岩手県支部 桐交会いけばな展<br>「秋によせて　ー線・色・塊ー」 | 9月30日(土)・10月1日(日)<br>マリオス 20階 展望室展示場(盛岡市) | 山本智揚 | ☎ 090-7335-5015 |
| Atelier Reio 社中展 | 10月13日(金)〜16日(月)<br>ANAインターコンチネンタルホテル東京 | モランジュ真紀子 | makikomorange@gmail.com |
| 和田紗香グループ　ー小さないけばな展ー | 10月14日(土)・15日(日)<br>ナゴヤハウジングセンター 日進梅森会場内 | 和田紗香 | ☎ 070-5645-1784 |
| 第6回徳久星蘭社中展 | 10月21日(土)・22日(日)<br>そごう横浜店9階センタープラザ | 徳久星蘭 | ☎ 045-391-6684 |
| 秋を奏でる | 10月27日(金)〜29日(日)<br>能美市寺井地区公民館展示室 | 倉元清花 | ☎ 090-2030-8722 |
| 第24回大澤秀紅社中展 | 11月4日(土)・5日(日)　三島商工会議所 TMOホール | 大澤秀紅 | ☎ 090-3305-0995 |
| 「さあ、これから!」 | 11月5日(日)・6日(月)　北とぴあ(北区) | 佐藤聖光 | ☎ 090-5776-0284 |
| 大川春雪×中野紘子展「炭と絹」 | 11月23日(木・祝)・26日(日)<br>楽歩堂前橋公園内　日本庭園和室 | 大川春雪 | ☎ 080-3152-2171 |
| SYC東京1企画展「点々」 | 2024年2月24日(土)・25日(日)<br>White Gallery(メイン会場)、ギャラリーマルヒ、<br>Gallery KINGYO(いずれも文京区) | 橋本佳蘭 | karan@ymail.ne.jp |

【草月会館土・日・祝日特別開館日】草月会館の特別開館日は、以下の通りです。その他の土・日・祝日は、草月会館は休館しております。
9月30日(土)、10月28日(土)、11月25日(土)　※草月WESTは月曜休み、祝日はオープンし翌営業日を休みとします。

このページに掲載されているイベントは内容が変更になる場合がございます。本部にお届け済みのイベントが中止または延期となった場合は、出版部 編集制作室までご報告くださいますようお願い申し上げます。
[ 出版部 編集制作室 ] TEL:03-3408-1158 ／ FAX:03-3405-4947 ／ E-mail:info@sogetsu.or.jp



## 本部主催支部研究会・講習会

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 富山県支部 | 8月6日(日) | 研究会　富山県民共生センター サンフォルテ | 林青影 | ☎ 0766-23-9366 |
| 福岡県支部 | 8月27日(日) | 講習会　パピヨン24 ガスホール | 片山紅早 | ☎ 090-4996-0667 |
| 三重県支部 | 9月3日(日) | 研究会　アスト津 4F 研修室A | 中村純麗 | ☎ 0598-42-3545 |
| 東京北支部 | 9月10日(日) | 研究会　草月会館 5階教室 | 秋山美晴 | ☎ 090-2256-5360 |
| 栃木県支部 | 10月1日(日) | 研究会　ライトキューブ宇都宮 交流拠点施設 会議室 | 荒川映翠 | ☎ 080-5382-5962 |
| 愛知県支部 | 10月8日(日) | 研究会　イーブルなごや | 竹口陽苑 | ☎ 0564-21-3197 |
| 宮崎県支部 | 10月22日(日) | 研究会　宮崎市民プラザ4F ギャラリー② | 石田南憧 | ☎ 0985-47-8770 |
| 高知県支部 | 10月29日(日) | 研究会　高知市文化プラザ かるぽーと 特別学習室 | 筒井美香 | ☎ 088-882-8977 |
| 岩手県支部 | 11月5日(日) | 研究会　盛岡市総合福祉センター 4階講堂 | 四役滋陽 | ☎ 019-623-5548 |
| 宮城県支部 | 11月12日(日) | 研究会　東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館) | 佐藤霞岳 | ☎ 022-304-5620 |
| 福島県支部 | 11月12日(日) | 研究会　ビッグアイ | 大河原喜恵 | ☎ 024-951-0390 |
| 長野県支部 | 11月12日(日) | 研究会(家元)　安曇野高橋節郎記念美術館 | 横山貴花 | ☎ 090-8328-9400 |
| 沖縄県支部 | 11月12日(日) | 研究会　会場調整中 | 金城蹊翠 | ☎ 098-836-7226 |
| 佐賀県支部 | 11月23日(木・祝) | 研究会　佐賀県立佐賀城本丸歴史館 御玄関前 | 佐田富紅輝 | ☎ 0952-28-0242 |
| 岡山県支部 | 11月26日(日) | 研究会　倉敷市芸文館 202号室 | 伊達香貴 | ☎ 086-222-0180 |
| 島根県支部 | 12月10日(日) | 講習会　松江市市民活動センター(スティックビル)　交流ホール | 増本市子 | ☎ 0852-23-3648 |
| 東京西支部 | 2024年2月18日(日) | 研究会　草月会館教室 | 久保田芳生 | ☎ 042-521-1434 |

## 支部展

| | | | |
|---|---|---|---|
| 東京南支部展　「花・讃・歩」(家元出品) | 前期:9月14日(木)〜16日(土)、後期:17日(日)〜19日(火)<br>玉川髙島屋S・Cアレーナホール・サロン | 泉知萩 | ☎ 03-3759-7860 |
| 大阪支部展　「Hana 〜心・遊・響〜」 | 9月15日(金)〜18日(月・祝)<br>あべのハルカス近鉄本店ウイング館8階 近鉄アート館 | 島田真美楓 | ☎ 090-5135-9975 |
| 東京西支部展<br>第27回「よみがえる樹々のいのち展」 | 10月10日(火)〜11月26日(日)<br>国営昭和記念公園　渓流広場周辺 | 久保田芳生 | ☎ 042-521-1434 |
| 兵庫県支部展　「はな・わたしの原点」 | 10月28日(土)・29日(日)　姫路文学館「望景亭」<br>12月9日(土)・10日(日)　GALLERY北野坂 | 大向佐都 | ☎ 079-492-8918 |
| 佐賀県支部展<br>佐賀県支部統合35周年記念いけばな展 | 11月24日(金)〜26日(日)<br>佐賀県立佐賀城本丸歴史館　御玄関前 | 佐田富紅輝 | ☎ 0952-28-0242 |
| 愛知県支部展　「花と巡る歴史の舞台」(家元出品) | 11月30日(木)〜12月4日(月)　岡崎公園 | 竹口陽苑 | ☎ 0564-21-3197 |

## フラワーク

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| とらや赤坂本店 | 8月 | 〜8月28日 | 今村草玉 | 赤坂見附 |
| | 9月 | 8月29日〜9月29日 | 先曽紗峯 | |
| | 10月 | 9月30日〜10月27日 | 横地江政 | |
| ザ・キャピトルホテル東急 | | 常設 | 杉岡宏美 | 溜池山王・国会議事堂前 |
| 赤坂エクセルホテル東急 | | 常設 | 飯岡湖武孜 | 赤坂見附 |
| ホテルニューオータニ東京(ロビィ階) | | 〜8月3日 | 川名哲紀 | 赤坂見附・永田町・麹町 |
| | | 8月5日〜9月6日 | 久保島一超 | |
| | | 9月8日〜10月11日 | 日向洋一 | |
| ホテルニューオータニ幕張30周年 | | 8月23日〜9月28日 | 千葉県支部 | 海浜幕張 |
| 横浜ベイホテル東急(B1階神殿口) | | 常設 | 御手洗直己 | みなとみらい・桜木町 |
| ラフォーレ原宿 GR8 | 2.5階 ① | 〜8月29日 | 御手洗直己 | 明治神宮前・原宿 |
| | 2.5階 ② | 常設 | 飯岡湖武孜 | |
| ホテルエミオン京都(笹屋伊織 別邸・3階ロビー) | | 常設 | 高嶺一染 | 梅小路京都西 |
| ホテルエミオン京都　祇園七夕(1階広場) | | 〜9月6日 | 倉田康治 | 梅小路京都西 |
| 草月会館日本間<br>開場時間:初日は午後から、最終日は午前中まで | | 〜8月4日 | 齋藤幸絹 | 青山一丁目 |
| | | 8月21日〜9月1日 | 大泉麗仁 | |
| | | 9月4日〜15日 | 新田陛嘉 | |
| | | 9月19日〜30日 | 高木水染 | |
| | | 10月2日〜13日 | 片山紅早 | |

西家元と迎える　新年の会2024

# 草月の花と一流ホテルの 食事で祝う、特別な一日

2024年も
皆さまとともに
新年を迎えタイ！





## 2024年1月13日(土)

**【西家元と迎える新年の会】** 11:00～11:30（草月ホール／全席指定380名）

- 西家元による新年のご挨拶と、初いけデモンストレーション

**【懇親会】** 12:30開場／ 13:30～15:30（ホテルニューオータニ東京・鶴の間）

- 仲間とともに寿ぐ新春に、リラックスして楽しむホテルのお料理。
- テーブル単位で賞品が当たる「テーブル対抗大抽選会」。家元と一緒におおいに盛り上がりましょう！
- 新企画「昇格お披露目」！
  理事、顧問、4級師範へ新たに昇格された方々のお披露目で、祝宴がスタートします。
  ※「昇格お披露目」のお申込みは別紙をご覧ください。

お問合わせ［ 総務課 ］　TEL：03-3408-1154　FAX：03-3405-4947　E-mail：somu@sogetsu.or.jp

ホテルニューオータニ東京で西家元と過ごすひととき！
新春にふさわしい、ハレの一日をお届けします。

同封の
申込用紙を
ご覧ください

［ 参加費 ］ 30,000円（お一人様）　※10名以上のお申込みで団体割引あり
※「西家元と迎える新年の会」のみご参加：6,000円（お一人様／草月ホール2階・3階70席）
※ 懇親会のみご参加：25,000円（お一人様／ホテルニューオータニ東京・鶴の間）

［ お申込み期間 ］ 2023年9月5日（火）10：00～　満席になり次第締め切り
［ お申込み方法 ］ 申込用紙と参加費が揃った順に受付いたします。申込代表者は草月指導者連盟会員（2023年度完納）に限ります。

［ 申込書ご提出方法 ］ E-mail、ファックス、郵便にて承ります（9月5日消印から有効）
［ 参加費ご入金 ］
●窓口申込：草月会館3階・会員サービス部窓口にて申込用紙・参加費を添えてお申込みください。
●郵便振替：ゆうちょ銀行備え付けの振込用紙に、通信欄に必要事項をご記入の上、参加費をお振込みください。
郵便振込口座番号：00140-2-355112　加入者名：一般財団法人草月会事務局
○通信欄①行事名「西家元と迎える新年の会」②代表者名情報（会員番号・氏名・雅号・住所・電話番号）③参加内容・人数
［ ご入金についてのお問合わせ ］ 会員サービス部　TEL：03-3408-1120　FAX：03-3405-4947 Email：members@sogetsu.or.jp